

千変万化

目の前に起きることとめどなくて
移ろいゆく慌ただしさの中には
良いこと 悪いこと
おきまりごと 突然のこと
新しいニュースにつぎつぎと消えてゆく

その中でくっきりと飛び込んでくる
テレビに映る関わる人たちの顔
それ見ながら感じるエアコンの涼しい風
その時の時間をゆっくりと震わせる

夕方の陽射し
部屋の隅薄い光を落とし
くつろぎの中で
自分の今日の日を忘れる

ようやく自分のかたち取り戻す
消えるものと残るもののあいだで
この心いつも小さな揺らぎ抱え
立ち止まる時間の大切さを思う

変わる速さに追いつけないでいても
見つめる気持ちは確かにここに残して

やがて来る夜
天井のあかり強くなって
くつろぎの中で
自分の今日の日が終わってゆく